平成二十六年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」　小学校六年　国語　解答及び配点一覧　No.1

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域に、□の「関心・意欲・態度」の観点を設けています。該当する領域において、□に示したような「関心・意欲」の見える言語活動を行っていれば、加点するという考え方で配点しています。

また、大問2には、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」をまとめて出題していますが、「書くこと」の領域においても、関連する問題を設定しています。

大問・領域等	中問	小問	連番	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点	小計
1 話すこと聞くこと	(1)		①			**・日本の伝統文化を体験できるから。**	5	23
	(2)		②			**ア**	5	
	(3)		③	○次の二つの観点について、それぞれの配点で採点する。 ①理由の中から繰り返し話すことを一つ選んで書いている。 ②選んだ理由を強調して、実際に話すように書いている。	5 5	○上記二つの観点を全て満たしている。 **・世界に一つだけの卒業文集になるということです。みんなで一枚一枚ちがう和紙を作って、一生の思い出になるような文集の表紙を作りましょう。**　等	10	
		関意態	④	○推薦のスピーチの終わりを書こうとしている。	2	○アドバイスを生かして、推薦のスピーチの終わりを工夫して書こうとしている。	3	
	授業改善の視点…事物や人物を推薦したり、それを聞いたりする言語活動を通して、目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫する力を育成する。							
2 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	(1)	①	⑤			**たも**（つ）	1	25
		②	⑥			**かんじゅく**	1	
		③	⑦			**じょうはつ**	1	
		④	⑧			**あず**（ける）	1	
		⑤	⑨			**せんでん**	1	
	(2)	①	⑩			**遺産**	2	
		②	⑪			**頂**	2	
		③	⑫			**砂糖**	2	
		④	⑬			**座席**	2	
		⑤	⑭			**洗**（う）	2	
	(3)		⑮			**うかがいます、参ります**　等	2	
	(4)		⑯			**イ**	2	
	(5)		⑰	○話し言葉のままで書いている。 **・六年生は、みんなでコートの準備をしてください。**　等	2	○書き言葉に直して書いている。 **・六年生は、みんなでコートの準備をすること。**　等	4	
	(6)		⑱			**ウ**	2	

平成二十六年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」　小学校六年　国語　解答及び配点一覧

No.2

大問・領域等	中問	小問	通番	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点	小計
3 読むこと	(1)		⑲	○保存方法の一部について書いている。 ・**微生物を発酵させている。**　等	4	○保存方法の違いを理解している。 ・**味方の微生物に先回りしてすみついてもらうように工夫している。**　等	6	23
	(2)		⑳			**①**	4	
	(3)		㉑	○次の二つの観点について、それぞれの配点で採点する。 ①資料の中の言葉を使い、柿を外につるす理由を説明している。 ②自分が感じたことを入れて書いている。	5 5	○上記二つの観点を全て満たしている。 ・柿を外につるしていた理由は、**干してかわかすことで水分を断ち、くさらないようにするためでした。昔の人びとは、び生物の特性に応じて、食べ物をくさらせない工夫をしていることに驚きました。**　等	10	
		関意態	㉒	○資料から分かったことを伝えようとしている。	2	○相手や目的に応じて、資料から分かったことを伝えようとしている。	3	
	授業改善の視点…日常生活から疑問に思ったことを調べ、資料から分かったことを説明する言語活動を通して、目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ自分の考えを明確にする力を育成する。							
4 書くこと	(1)		㉓			**イ**	4	29
	(2)		㉔	○内容に合わない見出しを書いている。 ・**身体障害者ほ助犬法とは** ・**ほ助犬のくんれん**　等	2	○内容に合った見出しを書いている。 ・**受け入れ義務のあるしせつ** ・**ほ助犬の受け入れ**　等	5	
	(3)		㉕	○単に補助犬を説明している。 ・**ほ助犬とは、体の不自由な人を助ける犬のことです。**　等	3	○ほ助犬の受け入れを説明している。 ・**当店では、ほ助犬の同伴を受け入れています。お客様のご理解をお願いします。**　等	5	
	(4)		㉖	○次の三つの観点について、それぞれの配点で採点する。 ①補助犬の役割や重要性について書いている。 ②補助犬の受け入れの必要性について書いている。 ③補助犬への理解を呼びかけるように書いている。	4 4 2	○上記三つの観点を全て満たしている。 ・**ほ助犬は、体の不自由な人の生活のお手伝いをしています。特別な訓練を受けているので、周りの人に迷惑をかけることはありません。** **法律により、さまざまな場所で、ほ助犬を受け入れるようになっています。みなさんもほ助犬を温かく見守ってください。**　等	10	
		言	㉗	○誤字脱字がない。 ○言葉遣い（敬体等）の間違いがない。	1 1	○誤字脱字や言葉遣い（敬体等）の間違いがない。	2	
		関意態	㉘	○ノートの内容を活用し、ポスターを書こうとしている。	2	○ノートの内容を活用し、目的や意図に応じて、ポスターを書こうとしている。	3	
	授業改善の視点…自分の課題について調べ、得た知識や情報を相手や目的に応じてポスター等にまとめる言語活動を通して、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする力を育成する。							